

脱! 一方通行の教え方・伝え方!

日総研

検索

商品番号 (14161)

# 学ぶ側の「主体性」「満足度」「理解力」を引き上げる

講義  
テクニク



その例え話・言葉のチョイスは正しい? 本当に伝わってる?

**【メッセージ】実は私も苦手でした…人前で話すことへの不安は解消できます!**

**西井重超氏** はたらく人・学生のメンタルクリニック 院長

元東京アカデミー講師。産業医科大学 精神医学教室 平成26年度・27年度教育  
医長。学生時代100人中98番の成績。劣等生の視点を活かし、「眠い授業・わかり  
にくい授業は、わかりにくい授業をする先生が悪い」をモットーに、医師になっ  
たのちに人に伝わりやすいプレゼン・教え方を学んだ末、独自の教育メソッドを確  
立。奈良県立医科大学精神科で研修後、産業医科大学に入局し在籍1年9ヵ月  
で教育医長に抜擢。現在教育に特化した精神科医として、年間9クラスの精神医  
学講義の教壇に立ち、日本看護学校協議会をはじめ、全国の看護学校に向けて、  
現代学生にみられるメンタル問題・発達障害等の指導も務める。著書『ラ・スバ過  
去問対策2016』(医学評論社・共著)等がある。

私もかつて話すことを書いたメモを持って壇上で丸読みし、緊張から  
来る吐き気と戦っていました。教える力、伝える力はトレーニングするこ  
とで向上します。ただ、きちんとした教え方を学ばず下手なフォームで  
のトレーニングを繰り返しても下手なフォームのまま年月が経ってしま  
います。本セミナーでは、授業(学校)や研修(病院)を問わずどんな講義  
でも通用する教え方・伝え方について、基本からお伝えします。

**生で体感しながら学べる!**  
**プレゼン・講義のコツ・組み立て方の基本が分かる!**

### プログラム

- 1. 学ぶ側の心理を知る**
  - 心理を知る前に大事なこと
  - 若者の特徴、今と昔
  - 「こうしてほしい!ここがいや!」学生の声
- 2. 学ぶ側の興味の引き出し方**
  - この伝え方、実は間違ってるんです
  - とらわれがちな思考パターン
  - 目標はシンプルに、学習目的だけ気を付ければいい
- 3. 参加者を惹きつける 伝え方の秘訣**
  - 必勝!うまい講演のフォーマット
  - この人なら話す資格がありそうだと  
言われるプロフィールの作り方
  - 「この講演はこうやって聞いて  
ください」って言ってますか?
- 4. 理解力・満足度で  
差が出る!  
具体例の考え方**
  - 「友達と仲良くしましょう」は  
具体的ではない
  - ついやってしまう  
上手く伝わらない話し方のクセ
  - 講義がグッと分かりやすくなる  
たとえ話
- 5. 人前で話すのが  
楽しくなる!?**  
～セルフメンタルコントロール
  - 緊張がやわらぐプレゼンの練習法
  - 腹が立った時の解消法
- 6. まとめ、質疑応答**

<b>福岡</b>	19年 5月19日(日)	福岡商工会議所
<b>名古屋</b>	19年 6月1日(土)	日総研ビル
<b>大阪</b>	19年 7月6日(土)	田村駒ビル
<b>東京</b>	19年 7月15日(月・祝)	日総研 研修室(廣瀬お茶の水ビル)
<b>岡山</b>	19年 8月18日(日)	福武ジョリービル
<b>仙台</b>	19年 10月14日(月・祝)	ショーケー本館ビル

【講義時間】いずれも10:00~16:00、名古屋・大阪のみ9:30~15:30

**参加料** 一般 19,000円 会員 16,000円  
税 込 ※会員は日総研専門誌(定期刊行物)の年ぎめ購読者です。  
※昼食代は含まれません。昼食は各自でお持ちください。  
※ご参加いただくには事前のお申し込みが必要です。※最少催行人数17人。

ご紹介した商品の詳細はホームページで案内中!

日総研

検索

院内研修・OJT・基礎教育の実践誌  
**看護人材育成**  
教育担当の業務と役割支援

隔月刊誌  
(年ぎめ定期刊行物)  
A4判 136頁  
入会金 3,000円  
年間購読料 22,216円  
(共に税込)

19年  
2-3月号  
特集

- “院内”講師の育成と飽きさせない講義・演習スキル
- 教育委員会の運営と成果の上がる活動ポイント
- 看護技術の前にすべき”基礎学力低下”への対応

看護人材育成

検索

▶詳細はホームページで [www.nissoken.com](http://www.nissoken.com)

●お申し込み受付後、通常1週間以内に参加証をお送りしています。参加証が届かない場合にはお問い合わせください。

<b>FAX申込書</b>		▼受取確認者氏名を必ずフルネームでお書きください		送付住所	TEL( )	—	施設宛 請求書 必要 ・ 不要
学ぶ側の「主体性」「満足度」 「理解力」を引き上げる [14161]		ふりがな		〒	—		
[23] <input type="checkbox"/> 福岡 5/19 [24] <input type="checkbox"/> 名古屋 6/1 [25] <input type="checkbox"/> 大阪 7/6 [26] <input type="checkbox"/> 東京 7/15 [27] <input type="checkbox"/> 岡山 8/18 [28] <input type="checkbox"/> 仙台 10/14		氏名 (受取 確認者)		生年月日	西暦 19 年 月 日		送付先 自宅 ・ 勤務先
→参加地区に 印を		▼日総研の会員制・専門雑誌をご購読の方はお客様コードをご記入ください		勤務先名			
		お客様コード	役職・部署	ご連絡をお送りします。メールアドレス			

FAX ☎0120-052690 電話 ☎0120-054977

★会員とは日総研専門誌(定期刊行物)の年ぎめ購読者です。

**日総研会員はセミナー3,000円引き!**

主催 日総研 日総研出版 〒451-0051 名古屋市西区則武新町3-7-15 日総研ビル

※日総研ではご提供いただいた個人情報に目的に従い適切に利用しております。詳細は[www.nissoken.com/privacy](http://www.nissoken.com/privacy)